

平成 2 3 年度科学・技術関係予算についての  
第一線の若手研究者からの意見募集結果  
( 29103 : 環境研究総合推進費 )

ご意見の概要	件数
このまま推進すべき	1 件
改善・見直しをした上で推進すべき	3 件
推進すべきではない	0 件
その他	0 件
合計	4 件

【主なご意見】

他省庁などの競争的資金における審査員と比較しても、この制度の審査員は名誉教授ばかりで、偏っていると思われる。若手の審査員を含めるなどにより、フレッシュかつ斬新な視点からの審査が望まれる。

環境省に格上げされて以降、急に環境関連の助成事業を扱うようになっていくが、内容的に他省庁の事業と重なりがあり、かつ、審査・配分・費用対効果などの基本的な面で粗が多い様な印象を受ける。配分機関として日本学術振興会を利用するなど、不得手な部分を系統的に再検討して、類似事業については統合も検討し、より実効的な事業推進システムを構築すべきである。